

★「京都市未来こどもプラン」に掲げた重点施策等の平成26年度における主な取組

《第1章》市民・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり

● 001 「子どもを共に育む京都市民憲章」の普及推進

＜予算額：6,000千円＞

「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」（平成23年4月施行）に基づき、「京都市子どもを共に育む京都市民憲章推進協議会」の開催や毎年度の「行動指針」の策定、「実践推進者表彰」の実施、「憲章の日」（毎年2月5日）を契機とした啓発活動、「推進協議会答申」を踏まえた取組等を通じて、憲章の普及及び実践の推進を図る。

平成26年度からは、事業者を対象とした情報発信・啓発の充実やスマートフォンアプリ等を活用した、若い世代にも効果的な広報啓発、新規事業「京都はぐくみ憲章宣言」・「(仮称) RPします！あなたの京都はぐくみ憲章実践活動」の創設などの取組を進めていく。

また、ソーシャルメディアの不適切利用対策や、親支援のための取組、「真のワーク・ライフ・バランス」の推進についても、一層の取組を進めていく。

市政のあらゆる分野における政策の推進に「京都はぐくみ憲章」の視点が反映されるよう、副市長をトップとし、局・部長を本部長とする「憲章推進会議」の設置や、区役所への「子ども育みサポーター」の配置など、本市における推進体制を整備する。

【保健福祉局 児童家庭課，教育委員会事務局 生涯学習部，全局・区】

《第2章》子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり

● 015 児童養護施設退所児童等進学支援事業

(015 乳児院，児童養護施設等における取組の充実)

＜予算額：1,500千円＞

児童養護施設を退所し、家族からの援助がなく大学へ進学した児童等に対して、学業に専念できる環境整備につながるよう、学費の一部を助成する。

【保健福祉局 児童家庭課】

● 017 情緒障害児短期治療施設「青葉寮」の移転再整備等

(017 児童福祉センターにおける取組の強化)

＜予算額：139,000千円＞

情緒障害児短期治療施設「青葉寮」について、民設民営化による移転再整備等を実施し、実施法人への整備助成を行う。

【保健福祉局 児童家庭課】

● **019** 風しん予防対策の充実

(019 母子保健事業の実施)

<予算額：24,000千円>

先天性風しん症候群の予防のための取組として、主として妊娠を希望する女性を対象に、平成25年7月から風しん予防接種の一部公費負担を開始し、さらに、平成26年4月からは保健センター及び協力医療機関にて風しん抗体検査を無料で実施している。

【保健福祉局 保健医療課】

● **034** 産後ケア対策の充実（スマイルママ・ホッと事業）

(034 育児支援家庭訪問事業の実施)

<予算額：10,800千円>

出産後に母体管理が必要な体調不良や育児に不安があり、親族等から支援がない母親に対し、身近な地域で安心して育児を開始し、子どもを健やかに育むことができるよう、産科医療機関及び助産所等で行うショートステイ（一時宿泊）や、デイケア（日中に通所）の利用を通じて、心身のケアや育児サポート等の支援を行う。

【保健福祉局 保健医療課】

《第3章》次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり

● **037** 子育て支援情報発信の充実（スマホアプリの作成）

(037 子育て支援情報の的確な提供)

<予算額：6,200千円>

子育て世代に向けたスマートフォンアプリを作成し、「授乳室・おむつ替えスペース」のある施設の案内や、「子ども年齢別」等の登録区分に応じて、子育て関連のイベント情報をリアルタイムに発信するなど、子育て関連の情報を容易に取得できる環境を整備する。

【保健福祉局 児童家庭課】

● **042** 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）の充実

<予算額：145,312千円>

子育て中の親の不安や負担感、孤立感を緩和し、安心して子育てができる環境を整備するため、特に乳幼児の親子が気軽に集い、交流できる場所を新たに4箇所開設することによって目標を達成する。

（参考）数値目標設定事業 20箇所（平成21年度）→35箇所（平成26年度）

【保健福祉局 児童家庭課】

● **054** 婚活支援事業の拡充

(054 働き方の見直しによる仕事と生活の調和の推進のための広報・啓発)

<予算額：8,500千円>

市民一人一人が仕事や家庭生活，社会貢献などにおいて，生きがいと充実感を得て人生を送ることができる「真のワーク・ライフ・バランス」を進め，ひいては少子化対策にもつながる取組として，結婚を望む市民に，出会いと交流の場を設けるための支援等を行う。

【文化市民局 男女共同参画推進課】

● **058** 駅等のバリアフリー化の推進

(058 「ユニバーサルデザイン」の理念に基づく子育てしやすい生活環境の整備)

<予算額：140,000千円>

「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想」に掲げる重点整備地区（10地区・11旅客施設）等のバリアフリー化を推進する。

平成26年度の取組

- ・バリアフリー移動等円滑化基本構想の策定
桃山地区（新規），阪急嵐山・松尾大社地区（新規），上桂地区（新規）
- ・駅施設のバリアフリー化
JR太秦駅（継続），JR藤森駅（新規），阪急西院駅及び京福西院駅（新規），
京阪深草駅（新規）
- ・ホームにおける転落防止対策
JR二条駅（新規），JR京都駅（東海道新幹線）（新規）

【都市計画局 歩くまち京都推進室】

● **069** 新「京都市動物園構想」の推進

(069 動物園の再整備)

<予算額：1,503,500千円>

平成21年度策定の共汗でつくる新「京都市動物園構想」に基づき，整備を推進する。

平成26年度実施計画

- ・「学習・利便施設」整備（平成27年夏オープン予定）
- ・「ゾウの森」整備（平成27年春オープン予定）
- ・「京都の森」整備（平成27年夏オープン予定）
- ・ラオス人民民主共和国からのゾウ4頭の受入れ
- ・「ゴリラのおうち～樹林のすみか～」整備（平成26年4月オープン）

【文化市民局 動物園】

● **071 京都市交通安全基本条例の推進及び京都市自転車安心安全条例の充実**

(071 子どもの交通安全を確保するための活動の推進)

<予算額：10,000千円>

平成25年7月から施行した「京都市交通安全基本条例」の推進及び「京都市自転車安心安全条例」の充実を図るため、スクエアード・ストレイト方式による交通安全教室の拡大など、交通安全啓発・教育等を充実させる。

【文化市民局 暮らし安全推進課】

● **市有建築物の耐震改修**

<予算額：284,200千円>

「京都市建築物耐震改修促進計画」（平成19年7月策定）に基づき、平成27年度末の耐震化率90%を目指し、市有建築物のうち、耐震診断の結果「耐震性なし」とされている施設について、改修内容や実施事業への影響等を総合的に調整しつつ、着手可能な施設から順次、耐震化に向けた改修及び設計を行う。

平成26年度実施箇所

- ・京都市北合同福祉センター（紫野障害者授産所，紫野児童館，北老人福祉センター，北図書館の複合施設）（改修）
- ・京都市住吉児童館（改修）
- ・京都市御室児童館（御室保育園（民営保育園）との合築施設）（改修）
- ・京都市周山保育所（設計）
- ・京都市今熊野児童館（設計）
- ・京都市洛陽児童館（設計）
- ・京都市南浜児童館（設計）
- ・京都市深草児童館（設計）
- ・京都市納所城之内児童館（設計）
- ・京都市翔鸞学童保育所（設計）

【保健福祉局 児童家庭課，保育課，障害保健福祉推進室】

● **民間保育所耐震改修助成**

<予算額：243,000千円>

「京都市民営保育園耐震化計画」に基づき、耐震化集中取組期間（26～30年度）の措置として、事業者負担割合の軽減（補助対象事業費の25%→15%）を行ったうえで、民間保育園10箇所に対し、耐震改修に係る経費を助成する。

【保健福祉局 保育課】

● **075** 保育所整備助成

(075 施設整備による保育所定員（入所児童数）の拡大)

< 予算額 : 1,570,200千円 >

保育需要の増加が見込まれる地域において、保育園の新設、既設保育園の増改築を行い保育所定員の拡大を図るとともに、耐震性能が不足する施設について耐震化を行い、705人の定員増を確保する。

- ・ 金領会第二保育園（仮称）、新設、左京区、定員90名
- ・ 夢工房保育園（仮称）、新設、左京区、定員90名
- ・ 天神川保育園（仮称）、新設、西京区、定員90名
- ・ 洛北幼児園、老朽改築、北区、定員60名→90名
- ・ 上賀茂保育園、老朽改築、北区、定員130名→190名
- ・ 池坊保育園、増築、下京区、定員60名→110名
- ・ 道心保育園（仮称）、新設、右京区、定員80名
- ・ 神川保育園、老朽改築、伏見区、定員210名→240名
- ・ わかば園、老朽改築【継続】、上京区、定員140名→170名
- ・ 松ヶ崎保育園、老朽改築【継続】、左京区、定員60名→90名
- ・ 百萬遍保育園、老朽改築【継続】、左京区、定員110名→170名
- ・ なかとみ保育園、老朽改築【継続】、山科区、定員90名→95名
- ・ 石原保育園、老朽改築【継続】、南区、定員90名→120名
- ・ 西福寺幼児園、老朽改築【継続】、伏見区、定員120名→150名

【保健福祉局 保育課】

● **076** 昼間里親運営委託事業の拡充

(076 昼間里親の入室児童数の拡大)

< 予算額 : 592,191 円 >

待機児童解消のため、保育需要の増加が見込まれる地域において、新たに昼間里親を5箇所増設し、41箇所から46箇所に拡充する。

【保健福祉局 保育課】

● **079** 延長保育の拡充

(079 延長保育の実施箇所及び保育時間の拡大)

< 予算額 : 604,610千円 >

就労時間帯の多様化等による保育需要の増加に合わせ、延長保育実施保育所を192箇所から195箇所に拡充する。

(参考) 数値目標設定事業 179箇所(21年度) → 195箇所(26年度)

【保健福祉局 保育課】

● **081** 休日保育の拡充

(081 休日保育の実施箇所及び保育時間の拡大)

<予算額：16,362千円>

就労時間帯の多様化等による保育需要の増加に合わせ、日曜・祝日に勤務する保護者等に対する保育サービスを7箇所拡充する。

(参考) 数値目標設定事業 5箇所(21年度)→7箇所(26年度)

【保健福祉局 保育課】

● **085** 病児保育(病後児併設型)事業

(085 病後児保育の実施箇所及び実施機関の拡大並びに病児保育の実施)

<予算額：65,054千円>

現在、病後児保育を実施している施設のうち1箇所を病児保育(病後児併設型)に転換する。(病後児保育4箇所、病児病後児併設型2箇所(24年度)→病後児保育3箇所、病児病後児併設型3箇所(25年度)→病後児保育3箇所、病児病後児併設型4箇所(26年度))

【保健福祉局 保育課】

● 保育士等人材確保事業の充実

<予算額：7,000千円>

保育士等の確保対策として、「京都市保育士・保育所支援センター」を設置し、市内における保育所就職希望者と保育所のマッチング等を行うとともに、保育団体が保育士に対して実施する就業継続のための研修や、保育所への再就職を希望する潜在保育士への研修に対して補助を行う。

また、主に平成27年3月卒業予定の学生を対象に保育所・児童館等の職場としての魅力をPRし、意欲的に働く人材を確保することを目的とする「保育園就職フェア」を開催する。

【保健福祉局 保育課】

《第4章》子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり

● **122** **123** 産後ケア対策の充実(スマイルママ・ホッと事業)

(122 出産準備の支援と虐待の未然防止, 123 産後うつ病などの早期発見と対応の充実)

<予算額：10,800千円>

出産後に母体管理が必要な体調不良や育児に不安があり、親族等から支援がない母親に対し、身近な地域で安心して育児を開始し、子どもを健やかに育てることができるよう、産科医療機関及び助産所等で行うショートステイ(一時宿泊)や、デイケア(日中に通所)の利用を通じて、心身のケアや育児サポート等の支援を行う。

【保健福祉局 保健医療課】

《第5章》次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり

● 162 市立・私立幼稚園における預かり保育の充実

(162 幼稚園での子育て支援の充実)

<予算額：34,000千円>

正規の保育時間終了後や長期休業期間中などにおいて、在園児等を預かる預かり保育の充実を図るため、市立幼稚園で午後6時までの預かり保育の試行実施を行うとともに、私立幼稚園に対する補助制度を創設する。

【教育委員会事務局 総務課，学校指導課】

● 181 青少年科学センター展示スペースリニューアル

(181 理数教育の振興)

<予算額：10,000千円>

青少年科学センターの魅力高め、児童・生徒・市民の科学への興味、関心をさらに向上させることを目的として、科学に関する最新情報に基づく話題性、アピール性を重視した新規展示品を計画的に整備するなど、展示スペースのリニューアルを実施する。

【教育委員会事務局 青少年科学センター】

● 182 「第3次京都市子ども読書活動推進計画」の実践

(182 新「子ども読書活動推進計画」の推進)

<予算額：17,300千円>

平成25年度に策定した「第3次京都市子ども読書活動推進計画（平成26年度～平成30年度）」の実践に向け、新たに中学生や乳幼児を対象として読書ノートを配布するなど、家庭における読書週間の定着に向けた取組を行うとともに、学校図書館の授業での活用に向けた実践事例集の作成、啓発イベントや出前貸出、児童コーナーの整備・充実等環境改善などによる京都市図書館の利用促進を行い、子どもの読書活動を、より一層推進していく。

【教育委員会事務局 生涯学習部，中央図書館，学校指導課】

● 183, 186 子どもたちによる観光客を「おもてなし」する国際文化観光都市・京都の魅力発信事業

(183 小学校からの英語教育の推進，186 伝統文化教育の推進)

<予算額：83,100千円>

「東京オリンピック・パラリンピック」開催決定を契機に、次世代を担う子どもたちが京都の伝統と文化を知り、学び、体験できる機会を創出するとともに、海外からの観光客に対して京都の魅力英語で伝え、京都ならではの「おもてなし」を実践できる英語力の育成に向けた事業を展開する。

【教育委員会事務局 学校指導課，生涯学習部】

● **193** 京都をつなぐ無形文化遺産「京の食文化」普及・啓発事業

(193 食育の推進)

<予算額：5,600千円>

「和食 日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録され、また、「市民が残したい“京都をつなぐ無形文化遺産”制度第1号として選定された「京の食文化—大切にしたい心、受け継ぎたい知恵と味」の普及・啓発に向け、学校給食における「和食」推進の検討開始と、京都ならではの食育活動である日本料理アカデミーと連携した日本料理に学ぶ食育カリキュラムの充実を図る。

【教育委員会事務局 学校指導課】

● **196** 工業高校改革

(196 「ものづくり都市・京都」の未来を切り拓く若者の育成)

<予算額：38,600千円>

洛陽工業高校及び伏見工業高校を統合し、新しい工業高校として、平成28年4月開校を目指し、専門的・先端的な知識と技術の定着を図り、世代を超えたものづくり教育の場としての役割に対応する施設・設備の整備に向け、開校予定地である立命館中学・高校（伏見区）の整備に着手する。

【教育委員会事務局 教育環境整備室、学校指導課】

● **201** 学校施設等の耐震化推進

(201 学校施設の耐震補強の推進)

<予算額：58,600千円>

学校施設のうち、耐震化計画の対象外であった木造の校舎や給食室等について、耐震改修を実施する。

【教育委員会事務局 教育環境整備室】

● **201** 学校体育館等つり天井等脱落防止対策

(201 学校施設の耐震補強の推進)

<予算額：642,000千円>

東日本大震災等での教訓を生かし、天井材や照明器具等の落下を防ぐため、「学校施設における天井等落下防止対策のための手引」等に基づく対策を2カ年計画で実施する。

【教育委員会事務局 教育環境整備室】